

2021年5月26日

関東・関西・九州ラグビーフットボール協会

理事長 各位

都道府県ラグビーフットボール協会

理事長 各位

競技規則の条文修正(通達)

(公財)日本ラグビーフットボール協会

(承認済み・押印省略)

専務理事

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、ワールドラグビーよりこのほど、下記の通り条文修正に関する通達が出されました。日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。貴協会におかれましても、加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

2021年5月12日(水)に開催されたワールドラグビー理事会にて、定款に従って、以下、競技規則第5条「時間」および第8条「タッチ、クイックスロー、および、ラインアウト」の条文文言の修正が即日施行にて承認された:

競技規則第5条「時間」5.7.c

5.7 残り時間がなくなった後にボールがデッドになったら各ハーフは終了するが、以下の場合を除く:

(修正前)

- c. ペナルティキックが、ボールが初めにタップキックされることなく、かつ、他のプレーヤーに触れることなく、直接タッチに蹴り出された場合。

(修正後)

- c. ペナルティキックが、ボールが初めにタップキックされることなく、かつ、他のプレーヤーに触れることなく、~~直接~~タッチに蹴り出された場合。

以上

※本件についてのお問い合わせ先
公財) 日本ラグビーフットボール協会
技術部門マッチオフィシャルグループ 競技規則担当
referee@rugby-japan.or.jp